

平成 29 年度第 1 回市民意識調査結果概要

(総務局広報部市民の声を聞く課 TEL 211-2045)

■ 設計

調査期間	平成29年(2017年)6月30日(金)～7月14日(金)
調査方法	郵送法
調査対象者	札幌市全域の18歳以上の男女5,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法

■ 回収結果

回収数	2,691通
回収率	53.8%

■ テーマごとの設問と主な結果 ※構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

テーマ1 家庭用指定ごみ袋について

札幌市では、平成21年7月から指定ごみ袋制による家庭ごみの有料化を実施し、ごみの減量や分別へのご協力を呼びかけてきました。有料化から8年を経過した今、皆さまのご家庭における指定ごみ袋の使用状況をお聞きし、今後のごみ袋の運用の参考とさせていただきます。

問1 ひと月当たりのごみ袋の使用枚数

	(1)5リットル	(2)10リットル	(3)20リットル	(4)40リットル
「月に1～4枚(週に0～1枚程度)」	34.0%	41.9%	42.5%	39.8%
「月に5～8枚(週に2枚程度)」	17.5%	24.2%	20.0%	3.9%
「月に9～12枚(週に3枚程度)」	2.7%	4.1%	4.5%	0.9%
「月に13枚以上(週に4枚以上)」	0.8%	0.9%	1.6%	0.6%
「この大きさの袋を使用していない」	36.4%	21.6%	20.5%	39.1%
「わからない」	2.5%	2.6%	4.2%	6.5%

問2 「燃やせるごみ」を出す際に最もよく使う指定ごみ袋

「5リットル」	20.9%
「10リットル」	37.0%
「20リットル」	32.9%
「40リットル」	6.2%
「燃やせるごみを出していない」	0.4%

問3 その指定ごみ袋の大きさをよく使う理由(複数回答)※上位5項目

「家から出るごみの量とサイズが合うから」	74.3%
「ごみをできるだけ少なくしたいから」	23.6%
「ごみ箱のサイズに合うから」	17.1%
「多くのごみをまとめて出したいから」	14.6%
「ごみステーションへ運びやすいから」	12.2%

問4 出すごみの量に対するよく使うごみ袋の大きさ

「大きい(まだごみを入れる余裕がある状態を出すことが多い)」	5.9%
「適度な大きさである」	77.7%
「小さい(押し込んでギリギリで入りきる、または、入りきらないため2枚目を使うことが多い)」	13.0%
「燃やせるごみを出していない」	0.4%

問5 指定ごみ袋に対する不便さ

「感じている」	11.0%
「どちらともいえない」	21.5%
「感じていない」	65.3%

《問5で「感じている」と答えた方を対象》

問5-1 不便さを感じている理由（複数回答）

「家から出るごみの量と合うサイズがない」	46.3%
「ごみ袋の長さ（縦）が足りない」	32.4%
「ごみ袋の幅（横）が足りない」	18.2%
「ごみを入れたときの重さ」	5.1%
「ごみ箱に合うサイズがない」	3.4%

《問5で「感じている」と答えた方を対象》

問5-2 現行の指定ごみ袋以外に必要なごみ袋の大きさ（最も必要なもの1つ）

「5リットルより小さい袋がほしい」	8.1%
「10リットルと20リットルの間の袋がほしい」	37.2%
「20リットルと40リットルの間の袋がほしい」	20.6%
「40リットルより大きい袋がほしい」	17.6%
「現在の4種類で足りている」	9.8%

《問5-2で「5リットルより小さい袋がほしい」から「40リットルより大きい袋がほしい」のいずれかに○をつけた方を対象》

問5-3 必要と感じている新たな指定ごみ袋の利用意向

「現行の指定ごみ袋の方がよく使うと思う」	13.4%
「新しいごみ袋の方がよく使うと思う」	21.1%
「どちらも同じくらい使うと思う」	18.2%
「わからない」	4.5%

テーマ2 雪対策に関する取組について

札幌市では、ゆたかな冬の暮らしの実現に向けて、市民の皆さまや企業等と協働して雪対策に取り組んでいます。そこで、皆さまの冬の暮らしに関する取組の現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

《全員を対象》

問6 これまでに行ったことがある除雪ボランティア

	1~2回	3回以上	行ったことがない
「つるつる路面への砂まき」	14.8%	14.0%	48.0%
「ごみステーション周りの除雪」	9.7%	18.7%	49.8%
「消火栓周りの除雪」	1.4%	3.4%	64.6%
「バス停周りの除雪」	0.5%	0.6%	66.4%
「近所の除雪の手伝い」	7.5%	10.7%	54.0%
「福祉除雪」	0.7%	1.2%	66.1%

《問6で、いずれかの『除雪ボランティア』を1回以上行ったことがあると答えた方を対象》

問6-1 除雪ボランティアを始めたきっかけ（複数回答）※上位5項目

「自発的に始めた」	55.9%
「町内会の行事」	14.4%
「家族からのお誘い」	3.5%
「冬の暮らしガイド」	2.8%
「会社の取組もしくは企業からの依頼」	1.8%

問7 継続または今後行ってみたい除雪ボランティア

	今後も継続したい	今後行ってみたい	継続したくない 行いたくない
「つるつる路面への砂まき」	23.4%	22.0%	26.0%
「ごみステーション周りの除雪」	20.8%	14.5%	34.6%
「消火栓周りの除雪」	4.0%	12.8%	45.6%
「バス停周りの除雪」	1.1%	8.9%	50.7%
「近所の除雪の手伝い」	12.3%	18.3%	35.7%
「福祉除雪」	1.4%	16.9%	43.3%

問8 冬の暮らしに関するルール・マナーの認知度（複数回答）

「ごみは収集日の朝に出す（前日の夜に出さない）」	87.2%
「路上駐車をしない」	87.1%
「敷地内から道路へ雪出しをしない」	82.2%
「除雪車が間口（玄関前や車庫前）に寄せた雪の処理は各家庭で行なう」	69.0%
「知っているものはない」	1.4%

問9 冬の暮らしに関するルール・マナーの中で実践していること（複数回答）

「ごみは収集日の朝に出す（前日の夜に出さない）」	83.0%
「路上駐車をしない」	75.7%
「敷地内から道路へ雪出しをしない」	71.1%
「除雪車が間口（玄関前や車庫前）に寄せた雪の処理は各家庭で行なう」	63.5%
「上記のルールやマナーを行う機会がない」	6.4%
「行っているものはない」	1.2%

問10 冬の暮らしに関する情報の入手手段（複数回答）※上位5項目

「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」	61.5%
「テレビのデータ放送（HTB、NHK、HBC、UHB）」	21.7%
「バス車内広告（中央バス車内広告「ぴりかる」）」	7.2%
「ホームページ（冬の暮らし・除雪、札幌ゆきだるまプロジェクト）」	5.6%
「街頭ビジョン広告（札幌駅前・4プラ前）」	3.4%
※「見たことがない」	23.9%

テーマ3 防災意識・災害への備えについて

札幌市では、東日本大震災など過去の災害を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進するためにさまざまな防災対策に取り組んでいます。そこで、皆さまが、防災についてどのような意識をお持ちなのかをお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

《全員を対象》

問11 指定緊急避難場所の災害別指定の認知度

「知っている」	40.8%
「知らない」	57.3%

問12 住んでいる地域の指定緊急避難場所の認知度

「知っている」	59.3%
「知らない」	39.0%

問13 勤務先における防災の取組状況

「勤務先で防災に関する取組が行われている」	44.6%
「勤務先では防災に関する取組が行われていない」	18.1%
「自分も家族も勤務していない」	28.7%

《問13で「勤務先で防災に関する取組が行われている」と答えた方を対象》

問13-1 勤務先で行われている防災の取組（複数回答） ※上位5項目

「避難訓練」	70.2%
「避難経路の確認」	60.0%
「消火訓練」	41.5%
「災害時用の備蓄」	27.6%
「防火対策」	24.1%

《問13で「勤務先で防災に関する取組が行われている」と答えた方を対象》

問13-2 防災の取組を行う上で困っていること（複数回答） ※上位5項目

「取組を行う時間がない」	10.3%
「参加する人員が確保できない、少ない」	6.4%
「防災に関する取組の方法がわからない」	4.4%
「費用の捻出が難しい」	3.2%
「相談する窓口がわからない」	3.0%
※「困っていることはない」	49.3%

《問13で「2 勤務先では防災に関する取組が行われていない」と答えた方を対象》

問13-3 勤務先で今後行う必要があると思う防災の取組（複数回答） ※上位5項目

「避難経路の確認」	37.4%
「避難訓練」	25.3%
「耐震対策」	24.5%
「防火対策」	22.0%
「消火訓練」	21.6%

テーマ4 食の安全・安心について

札幌市では、市民、生産者や販売者、札幌市が一丸となって、市民の皆さまが安全で安心な食生活を送ることのできるまちづくりを目指しています。そこで、皆さまの食の安全性への関心などをお聞きし、今後の食の安全・安心推進の参考とさせていただきます。

《全員を対象》

問14 食品の安全性に関心があること（複数回答） ※上位5項目

「賞味期限・消費期限表示」	76.0%
「品質・衛生管理」	74.7%
「産地表示」	67.1%
「食品添加物」	59.1%
「食中毒予防」	51.6%
※「食品の安全性に関心がない」	1.0%

《問14で食品の安全性に関する項目のいずれかに○をつけた方を対象》

問14-1 食品の安全・安心を判断するための知識の有無

「判断できる十分な知識がある」	3.9%
「少し不安は残るが安全か判断できるだけの知識はある」	31.7%
「ある程度の知識はあるが、安全・安心を自分で判断するだけの知識はない」	42.4%
「全く知識はない」	5.1%

《問14-1で「ある程度の知識はあるが、安全・安心を自分で判断するだけの知識はない」または「全く知識はない」と答えた方を対象》

問14-2 判断するための知識がないと思う理由（複数回答） ※上位5項目

「学ぶ機会がない」	53.1%
「調べる方法がわからない」	27.1%
「難しく理解できない」	15.3%
「自分で調べたり学んだりしたいとは思わない」	13.8%
「調べてみたが、知りたい情報が見つからない」	7.8%

《問14で「食品の安全性に関心がない」と回答した方を対象》

問14-3 食品の安全性に関心がない理由（複数回答） ※上位5項目

「実生活で困ったことがない」	29.6%
「食品の生産者や製造者を信頼しているから」	22.2%
「行政の安全性審査を信頼しているから」	18.5%
「アレルギーなどの健康面での心配がないから」	14.8%
「食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから」	11.1%
※「特に理由はない」	22.2%

《全員を対象》

問15 札幌市食品衛生管理認証制度（さっぽろHACCP）の認知度

「制度の内容を知っている」	5.8%
「制度の内容は知らないが、ロゴマークを見たことがある」	17.9%
「制度の内容を知らないし、ロゴマークも見なかった」	70.8%

問16 さっぽろ食の安全・安心推進協定の認知度

「制度の内容を知っている」	3.1%
「制度の内容は知らないが、ロゴマークを見たことがある」	11.3%
「制度の内容を知らないし、ロゴマークも見なかった」	79.6%

《問15又は問16で、「制度内容を知っている」「制度の内容は知らないが、ロゴマークを見たことがある」と回答した方を対象》

問17 制度内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法（複数回答） ※上位5項目

「市が発行するパンフレット」	24.6%
「食品関連施設」	16.7%
「札幌市ホームページ」	14.7%
「札幌駅前通地下広場（チカホ）」	14.7%
「さっぽろオータムフェスト」	13.3%

《全員を対象》

問18 ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象（複数回答）

「安全性について信頼できる」	40.1%
「厳正な安全性審査を通過している」	18.5%
「優先的に利用・購入したい」	14.9%
「おいしそう」	1.8%
「特に印象がない」	26.1%

問19 食品に関する市民参加型事業の中で参加してみたいもの（複数回答）

「食のまち・さっぽろフェスト」	31.5%
「モニター事業」	16.5%
「市民交流事業」	12.7%
「子ども食品Gメン体験事業」	6.3%
「事業に参加したいと思わない」	40.8%

問20 食品の安全性や市の食の取組に関する情報を受け取りたい方法（複数回答）※上位5項目

「広報さっぽろ」への定期的掲載	65.3%
パンフレット配布	20.2%
食品関係のイベント	15.5%
ホームページへ掲載	10.5%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）	5.2%
※「受け取りたいとは思わない」	10.9%

問21 食の安全・安心の確保のために取り組んでいること（複数回答）

「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する（利用・購入する）」	37.3%
「表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）」	35.5%
「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）」	30.7%
「札幌市のホームページ・広報物を見て、食の安全・安心に関する知識と理解を深める」	11.4%
「食の安全・安心に関するイベント等に参加する」	3.5%
「特に取り組んでいない」	27.2%

《問21で「特に取り組んでいない」と回答した方を対象》

問21-1 取組を行っていない理由（複数回答）※上位5項目

「取り組む機会がないから」	34.2%
「時間がないから」	24.7%
「知識が足りないから」	22.7%
「なんとなく」	22.4%
「面倒だから」	21.7%

《全員を対象》

問22 札幌市が行う取組で不足していると思うもの（複数回答）※上位5項目

「わかりやすい情報の提供」	29.1%
「食品の抜き取り検査」	22.8%
「製造所などでの衛生指導」	20.3%
「法令違反への厳しい対応」	19.1%
「表示の監視」	17.6%

問23 食品事業者が行う取組で不足していると思うもの（複数回答）※上位5項目

「わかりやすい表示の推進」	37.3%
「自主的な衛生管理の推進」	29.7%
「食の安全・安心を推進していることのPR」	26.6%
「食品の自主検査」	23.7%
「消費者、事業者間の情報・意見交換」	12.4%

テーマ5 動画の視聴について

皆さまが見ている動画についてお聞きし、今後の動画を使った市政情報発信の参考にさせていただきます。

問24 普段のテレビ視聴状況

「見ている」	83.5%
「見ていない」	8.8%
「テレビを持っていない」	1.2%

問25 普段視聴している動画の種類（複数回答）※上位5項目

「報道番組」	77.7%
「ドラマ」	53.3%
「スポーツ」	50.2%
「お笑い、コメディ」	39.1%
「映画」	37.5%

問26 関心がある情報（複数回答）※上位5項目

「最新の事件、事故」	69.8%
「健康・医療」	49.0%
「映画、エンターテインメント、芸術鑑賞」	42.4%
「スポーツ」	41.2%
「旅行、レジャー」	37.8%

問27 関心がある情報の入手手段（複数回答）※上位5項目

「テレビ」	83.2%
「新聞」	55.7%
「チラシ、フリーペーパー」	30.4%
「書籍」	26.6%
「スマホアプリ」	24.2%

結果の概要は札幌市HPに掲載します。

[http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/]